

# SSK銀鈴増刊



## ぎんれいだより

H 30年春号

編集：

公益社団法人銀鈴会

東京都港区新橋 5-7-13

ビュロー新橋 901

電話：03-3436-1820

ぎんれいだより NO. 7

2018年4月1日発行

### 平成30年度挨拶

〜今年度活動について〜

会長 松山 雅則

この4月から新たな平成30年度の活動が始まります。ここ数年、会員さんの減少と高齢化という課題に取り組みながらも平成29年度を大過なく終わらせることができました。これも会員、賛助会員の皆様のご協力、ご支援の賜物と感謝いたしております。



さて、今年度も発声教室ではシャント教室の充実と食道発声、E.L発声の2方式併用発声の取り組みを継続して進めてまいります。行事関係では例年、6月に定期総会と声の祭典を同日に行っていました

今年度は総会と声の祭典を分離し、総会では会員の集まりやすい東京都障害者福祉会館にて発声教室に参加する会員さんと共に行い、声の祭典（カラオケ大会）は信濃町の東医健保会館にて東日本ブロックの各団体と合同で行う予定をしています。声の祭典には多くのご来賓と会員さんに出席していただいで楽しみを共有し、我々の活動をPRする機会にできたらと考えています。更に今年11月には2年に1回の全国発声大会も同じ東医健保会館で予定されています。予選があります。銀鈴会からも多数の皆さんに参加していただき日本一と厚生労働大臣賞の榮譽を目指して頑張っていたきたいと思います。なお、銀鈴会では皆さんのお役に立つ商品を販売し、会員さんの便宜を図っておりますが昨年は人工鼻、パワギガ、筆談ボード、お茶などの商品を増やしてきました。今年はおムロン製の小型ネブライザーや血圧

計、心電計などの健康機器の販売も始めました。皆さんの健康管理には非ご利用いただきたいと思えます。一方、アジア連盟の関係ではベトナムのホーチミン市の病院から銀鈴会の発声指導システムの導入と食道発声指導を熱望されていますのでJICAなどの支援団体と相談しながら検討して行きたいと考えています。

本年もこのような取り組みを通して時代に対応できる銀鈴会を目指します。皆様方の一層のご協力をお願いいたします。

### 平成29年度 第38回

#### 家族座談会

平成30年2月17日（土）13時より港区・三田の東京都障害者福祉会館にて、銀鈴会特別常任顧問の福田先生をお招きして座談会を開催しました。



座談会では、事前には、申込みのあった術後の身体的なお悩みや発声に関する質

問について、福田先生、訓練士が回答いたしました。福田先生には質問者と直接対話しながらの回答をいただき、参加した家族を含め会員の方たちが熱心に聞き入っていました。※今回の質問、回答の内容は銀鈴会のホームページ、および毎年発行している「銀鈴」誌に掲載予定です。

### 平成29年度 第4回

#### スピーチ発表会

家族座談会に先立ち「第4回スピーチ発表会」が行われました。松山会長の挨拶の後、13人の出場者がクラスごとに日頃の練習成果を披露し、会場から大きな拍手が送られました。

最後に福田先生の講評で的確なアドバイスをいただき、参加者一同とても勉強になりました。

#### ◆福田先生の講評

スピーチされた皆様ご苦勞様でした。いろいろな意味で感銘を受けました。



スピーチされた皆様の発声を各論的には評

働いたしません。全体に関しての講評をいたします。

初心の方といえども母音がきちんと出ていることを考えると、なめらかな子音を出して、それを自分の得意な母音につなげる能力を持つことが大切だと思います。

初心、初級と移って行く過程では発声能力の差は歴然としています。そういう意味でクラス分けは意味あることと思いました。

一人お名前を挙げるとすれば、小川さんです。「諦めないで、諦めないで、そして、楽しくやれるように」との主張は全くそのとおりです。指導する側も楽しくやれるような指導を心がけることが大切です。

**声の祭典  
カラオケ大会**  
とき 30年6月16日(土)  
ところ 信濃町東医健保会館

**内閣総理大臣賞受賞  
廣瀬 肇 (銀鈴会常任顧問)**

平成 29 年 12 月の平成 29 年度障害者週間にあたって図らずも「障害



者関係功労章」を受けることとなり、去る 12 月 5 日に霞が関ビル内の東海大学校友会館で、賞状を受領してきました。そのきっかけとなったのは、これまで喉摘者団体の発展を医学的な面から支えてきたという点について銀鈴会からご推薦を受けたことによるもので、松山雅則会長はじめ皆様のご厚意にあらためて深謝致します。(中略)

今回の行事については、総理大臣からの表彰ということもあって、あらかじめ内閣府を通じて、かなり詳しい案内、指示がありました。また当日は皇太子殿下、および同妃殿下のご臨席があるということで、開式の 2 時間以上前からの集合となりました。さらに式の本番に先だって、入念なりハーサルが行われるなど、こういう行事の内容に疎い自分にとっては目新しい経験で、いささか疲れました。ただ、結果的にみると、

受賞者の中に小学生がいたり、目が不自由なため介助が必要な方もあったりしたため、リハーサルは不可欠であったと納得できました。

本番の進行はまさに分刻みでしたが、入念なりハーサルのためもあって極めて円滑に進みました。皇太子殿下のお言葉、安倍総理の祝辞、総理による賞状の授与(なお、個人への賞状の授与は、代表者 1 名のみに対して行われ、自分は着席のまま済みました)、小学生の作文朗読、が式の流れです。皇太子殿下、同妃殿下のご退席の後、安倍総理との記念撮影があり、撮影の後、一人ひとりが総理と握手して終了となりました。(全文は銀鈴誌 65 号に掲載いたします)

**喉頭摘出者団体アジア連盟  
平成 29 年度 AFLA 活動報告**

平成 29 年 11 月 20 ～ 21 日の 2 日間タイ・バンコクのシリラート病院で第 27 回運営委員会および第 25 回臨時総会が開催されました。参加国は中国、台湾、香港、マレーシア、北インド、南インド、フィリピン、日本およびベトナム(特別参加)の 9 地域の参加でした。日本からの参

加者は松山会長、太田専務、白川監事、栃木指導員の 4 名でした。運営委員会・総会では、各国の活動報告、および日本からは廣瀬先生の「食道発声」ビデオプレゼンテーションを紹介しました。また、重原賞の授与式が行われ、団体賞にタイ喉摘者協会、個人賞にインド・Dr. Briji Abrol



がそれぞれ授与されました。各国の活動報告に対しては、多くの意見が出され有意義な討議ができました。次回

開催国の香港常任委員からの挨拶があり閉会いたしました。なお、AFLA 活動の一環として食道発声研修会を併せて実施しましたので、ご報告いたします。

**タイ・バンコク  
食道発声研修会**

平成 29 年 11 月 20 日、AFLA 常任委員会を午後控えて、午前中の

2時間のみを初心者（5名）および上級者（8名）に分けて食道発声の指導を実施しました。

初心者のうち全く声の出ない女性と誤発声者の2名は、「お茶のみ法」で指導しました。他3名は3〜5音の発声が可能になりました。

上級者8名については、スムーズな発声をするための日々の練習として、吸引法による腹式呼吸と連続発声の方法を指導しました。

**ベトナム・ホーチミン  
食道発声研修会**

AFLA総会終了後の11月24〜25日（Ung Buou Cancer 病院内で実施しました。研修を通じてベトナムに「喉摘者協会」設立とAFLAへの加盟を促す目的もありました。

AFLA顧問の廣瀬先生にも同行いただき英語による講演会の実施と、医師、言語聴覚士との懇談会を開催し、活発な意見交換が行われました。

研修会では、参加者全員が食道発声未経験者のため、クラス分けはできず参加者を3クラスに分けて原音獲得練習からスタートしました。

初めてのベトナム研修会でしたが、4名を除き18名が原音を発声でき

るようになりました。2日間の短い研修でしたが、研修で得た発声技術を反復練習し、日常会話ができるレベルまで上達することを願いつつ、帰国の途につきました。



ホーチミン 研修会修了後の記念撮影

**銀鈴会出版部からのお願い**  
短歌、俳句、川柳の作品を募集いたします。  
「銀鈴」65号掲載予定、各種1作品（計3作品まで）、6月末締切、下記事務局までお寄せ下さい。



日常生活用具の申請が可能です。

**会話補助装置 パワギガM**  
是非お手元に



携帯用  
ネブライザー  
NE-U22

**オムロン健康機器製品**  
取扱い開始しました

公益社団法人銀鈴会 事務局 高梨泰弘  
〒105-0004 東京都港区新橋 5-7-13 ビュロー新橋 901  
TEL : 03-3436-1820 FAX : 03-3436-3497  
E-mail : office@ginreikai.net  
ホームページ : <https://www.ginreikai.net/>

お問い合わせは



生産者の顔が見えるお茶  
**静岡・川根茶産地直送**

♡賛助会ご加入とご寄付のお願い♡  
身近な方々の  
ご理解とご協力をお願いいたします。

- ~~~~~  
年会費  
・法人賛助会員 1口 5,000円 6口以上  
・個人賛助会員 1口 5,000円 1口以上  
~~~~~



## ご支援ありがとうございました

ご寄付及び賛助会費を頂戴いたしました皆様 平成 30 年 3 月末日現在（五十音順 敬称略）

アシダ音響株式会社、株式会社アトスメディカルジャパン、株式会社岡村製作所、株式会社オフセットクリーン、鹿島建設株式会社、三協立山株式会社、株式会社スーパーポテト、医療法人社団順康会、穂星電子工業株式会社、株式会社鈴木保有社、住石ホールディングス株式会社、住友林業株式会社、関野運輸株式会社、泉工医科貿易株式会社、全日本相撲甚句協会、綜研化学株式会社、株式会社ソリューションハウジング、第一医科株式会社、株式会社第一興商、大新土木株式会社、太成倉庫株式会社、株式会社大染、株式会社大和証券グループ本社、大和ハウス工業株式会社、株式会社テラ、株式会社電制、東京ガレーヂ株式会社、南武建設株式会社、ニチハ株式会社、日本ガレーヂサービス株式会社、有限会社野沢正光建築工房、株式会社ハーフ・センチュリー・モア、株式会社ハウスメイトパートナーズ、橋本総業株式会社、原田産業株式会社、株式会社福祉施設共済会、株式会社プロティア・ジャパン、三井住友カード株式会社、株式会社三井住友銀行、株式会社明電舎、株式会社名優、株式会社メディカルコーチ、山崎製パン株式会社、株式会社レーサム、株式会社ロッテ、和以美株式会社、株式会社ABC店舗、SMB C日興証券株式会社、TOTO株式会社、YKKAP株式会社

青木佑一、青山弘、秋元一郎、秋元洋一、浅香高秀、朝田禮一、浅見精二、足立健之助、雨宮慎一、荒松允之、有巢皓三、安藤京子、安藤純一、飯島敏禎、飯塚惟久、飯沼正宏、五十嵐雅勝、池田美代、石井恭平、石川和子、石河文子、石川眞佐子、石田研吾、石塚吉輝、石原文雄、市田治弥、市吉將浩、井手麻喜子、伊藤仁、犬山正人、井上貴之、井上洋一郎、岩崎堅司、岩崎伸、岩間和夫、上田貞行、上田繁、上原七司、上榎政隆、宇佐美昭夫、薄井誠、梅本眞也、江口仁、榎本眞理、江原澄、江原里美、江原節子、大井卓雄、大條文也、大塚和男、大貫貞子、大貫美智子、大野勇三、大浜保道、岡島正恒、岡田悠紀子、岡戸富美子、小川秀子、荻原勇夫、奥島茂、奥原修、刑部勝巳、鬼沢直維、笠貫達也、梶山和秀、柏瀬幸弘、加藤紘一、加藤芙美子、金子豊巳、片山浩晶、片山雅美、金崎勝男、茅史郎、川井栄助、川崎光夫、川鍋千枝子、神立喜三郎、岸健作、城所忠男、木下勝男、木元英明、清田次郎、楠本哲、窪井純子、久保力男、熊川喜代司、栗原弘、小池信司、狐塚博、小谷昌司、小濱利重、小林宏、小室耕一、権平清、近藤章、今野真機子、齋藤大、齋藤隆、齋藤幹男、齋藤隆治、坂内まち子、左海省司、酒井弘子、坂上典子、相樂多恵子、佐久間博、佐々木昭夫、佐竹英三、佐藤和人、佐藤圭吾、佐藤賢治、佐藤茂樹、佐藤隆史、佐藤喜重、佐野幸孝、澤口みよ、山後弘子、山後祐介、鹿内健悦、穴倉康雄、篠清市、篠田乃武子、篠奈津子、篠美登里、柴尾邦江、柴田清、芝満雄、島田厚子、島田初夫、島田真由美、清水泉、清水和夫、清水勢津夫、清水保良、下里岩二、朱宮裕子、正願地孝子、白井芳郎、杉山喬、鈴木邦忠、鈴木時子、鈴木敏彦、鈴木文雄、鈴木正子、鈴木三智子、鈴木光子、すずらんの会、砂長治、隅谷貞子、相馬麻衣子、醍醐輝世、高橋健二、高橋敏夫、高橋剛、高橋もと子、高橋泰明、高原明美、高山幸明、武田達幸、武田祐爾、田尻直樹、田代豊、橘巖、立石善一、田中高、棚橋武子、谷貝忠秋、田原武志、辻文子、寺尾徹、寺澤永祥、富樫義郎、栃木謙治、永井一男、永井芳子、中西昭雄、中西かよ子、中西正夫、中野博幸、中村明美、中村宗夫、名越一郎、新美典子、西田真哉、西野宏、西村恵三郎、新田清剛、長谷川サイ、長谷川正一、長谷川良克、服部カツヨ、花嶋良直、馬場一寿、馬場金五郎、浜野耕平、林芳紀、原口健次郎、半田建二、東幸子、引間善二、檜森聖三、平澤玉吉、平林育宏、廣瀬肇、藤原桂子、藤森良一、舩越建治、二木芳彦、瀧本義山、古川寿、古谷等、星芳文、堀満、本田学、本間廣俊、前田知子、牧野清、正木壽子、増田惣一、増田正毅、松井昇、松清平、松下成孝、松嶋宏、松田行雄、松本博、松山光志、松山寿美子、松山雅哉、松山雅則、眞辺致一、三浦和子、右田正隆、三沢健二、水島雅晴、水谷昇弘、水野壽夫、三田村一雄、宮原厚夫、宮本啓三、宮本貢、村田恵子、村松繁雄、村本高史、森本孟子、八木清文、矢島藤人、矢代三江、安田祥子、安野智、谷田部元吉、柳葉君代、柳葉藤枝、山岡弘尚、山岡義雄、山岸正央、山口春吉、山口平男、山崎浩子、山田善宣、山寺勉、山本勇、山本一雄、山本恵子、横井俊三、横江良市、吉田一男、吉田伸弥、吉田久乃、吉田美保子、吉野充聡、脇田誠照、和田栄子、和田重章、和田征勇、和田義文、渡辺恵一、渡辺忠義、渡邊鐵雄、渡邊正雄、渡邊操、渡三夫、王美林、F. T.、F. K.、F. H.、I. K.、H. H.、H. K.、H. M.、H. T.、I. K.、I. N.、K. A.、K. M.、M. J.、N. M.、N. T.、O. T.、O. Y.、S. K.、S. M.、T. M.、T. K.、Y. S.、Y. N.、Y. Y.